

FDG-PET/CTにおける弾性線維腫の画像的特徴の後方視的検討に

関するオプトアウト

対象者:2013年3月18日から2016年9月18日までに当院でFDG-PET/CTを受けた患者様のうち、弾性線維腫が認められる患者様が対象となります。

【研究の目的と意義について】

弾性線維腫は肩甲骨下部に出来ることの多い良性腫瘍で、本邦では九州や沖縄県に多いことが知られています。多くは保存的治療で改善するため、積極的に切除する必要はありません。FDG-PET/CTにおいて弾性線維腫はまれに他の悪性腫瘍との鑑別が難しいことがあります。FDG-PET/CTにおける弾性線維腫の画像的な特徴に関して報告した研究は多くありませんのでこれを調べることに画像診断上の意義があります。特に、経過を追って弾性線維腫の画像所見の変化について言及した報告はなく、検討に値します。

今回の研究では、当院PETセンター開設以降に悪性腫瘍を有する患者様に対して撮影されたFDG-PET/CTの画像を後方視的に調べ、弾性線維腫の腫瘍体積やFDG集積の強さ、経時的な画像所見の変化などを解析することによって、多くの症例から弾性線維腫のFDG-PET/CTにおける画像的な特徴を導き出し、正確な診断や管理の一助とすることを目的としています。この画像解析はすでに撮影させていただいたものを調べるため患者様に負担をお願いすることはありません。また個人情報情報を厳重に管理・保護いたします。

【研究の方法について】

2013年3月18日から2016年9月18日までに当院で癌を対象としてFDG-PET/CTを受けられた患者様のデータから、弾性線維腫に関するデータを収集し、後方視的に検討します。

【個人情報の保護について】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は以下の連絡先までお申し出ください。

【問い合わせ等の連絡先】

琉球大学医学部附属病院放射線科

中俣彰裕 岡田真広

電話 098-895-1162 (直通)

(対応可能時間 平日 08:00~17:00)